

英獨協商ト日露同盟

韓國及福建省ヲ採ツテ之ヲ我カ勢力範圍ノ下ニ置
クハ我國方今ノ急務ナルヘシト虽モ而カモ威迫ニ依リ
若クハ干戈ヲ以テ此ノ目的ヲ達セントスルニ至テハ未タ其
ノ可ナルヲ知ラム是レ事ノ成ラサルカ故ニアラス策ノ拙ナ
ルヲ以テ也蓋シ兵力上ヨリ觀ルモ將々賤政ノ黜ヨリ察
スルモ露國ノ怖ルニ足ラサルヤ瞭ケシ然レトモ之ト一タヒ
隙ヲ啓カン乎縱令ヒ韓國ノミナラス滿州ノ幾部ヲモ
併セ獲ヘシトスルモ或ハ彼ノアルサラスハコロシヌノ如
ク事毎ニ反目嫉視ノ媒トナリ兩國ノ間遂ニ永世



解クヘカラサルノ讐ヲ結フニ至リ遂ニ一塊肉ノ故ヲ以テ兩
虎相及噬シテ共ニ仆ルノ奇觀ヲ呈スルモ亦知ルヘカ
ラス日露兩國ノ政治家ハ共ニ思フ茲ニ致サ、ルヘカラ
ズ
旦夫日露兩國ハ邦域相隣シ其間嘗テ宿怨旧恨ノ存
スルヲ觀ズ唯、離間中傷ノ策ヲ弄スルモノアルニ由リ時
ニ市虎ニ謬ラシテ猜疑ノ念ヲ抱ク而已、情意一タニ融
解セバ相互利害ノ離合スル所却ツテ兩國ノ和親ヲ永
遠ニ持續スルノ動機タラントス、事若シ茲ニ到ラハ朝鮮
及福建ノ事處ニ難キヲ憂ヘサル也

這般ノ英獨協商ハ實ニ日露兩國ノ相接近スヘキ
最好ノ機會ヲ與ヘタルモノト謂フヘシ、抑モ該協商
カ如何ナル目的ニ出テタルヤ未タ俄カニ断定シ易カ
ラスト虽モ之ヲ以テ單ニ露國ノ滿州ニ對スル野心ニ
備ヘントスルモノト為スニ止マテ未ダ盡セリト謂
フヘカラス、曩キニ我政府ハ獨逸外務大臣ニ質スニ韓
國ヲ我カ勢力ノ下ニ置クエトヲ承認シ且之カ為メ
我國ニミテ他國ト不和ヲ生スルトキハ獨國ハ少クト
モ局外中立ヲ維持スヘキ乎ヲ以テシタルエトアレバ
獨國ハ必ス日露間ニ於テ滿韓分配ノ議アルヲ推

ニタルコトナルヘシ、殊ニ廈門事件ノ如キハ英獨兩國
ヲミテ我國ノ態度ヲ疑ハシムルノ好材料ナリシヤ
必セリ、今亦伊藤内閣ノ成立ヲ觀ル、日露合議ノ
上肆マ、ニ清國ノ分割ヲ企圖シ以テ巨利ヲ專占
セントスルモ亦側リ難シ、蓋シ英ノ怖ル、所ハ露ナリ
獨ノ憚ル所ハ我ナルヘシ、何トナシハ英獨ノ眼中ニ於
テ清國ニ對シ重大ノ關係ヲ有スルモノハ露ニアラサシ
ハ日ナルヘケシハナリ、英獨協商ノ起因モ亦察シ難
キニアラズ、
然レトモ他方ヨリ之ヲ觀ルニ英獨協商ハ能ク關係列

國多數ノ意向ヲ表明シタリモノト謂フヘシ、保全ハ名
正シ主張セサルヘカラズ然カモ某國アリ土壤ノ割
取ヲ計ラバ我モ亦之ニ倣ハシト云フニ外ナラス即チ
其ノ本旨ハ先導者ヲ俟ツテ分割ノ事ヲ行ハント
スルニ在ル耳、米國スラ輓近ニ至リ頻リニ帝國主
義ヲ唱道シ境域ノ開拓ニ營々タリ今ヤ其ノ國
論ハ清國ニ於テ要港ヲ獲收スヘシト云フニ一致ス
ルヲ觀ル、況ンヤ其他ノ列國ヲマ、唯ク清國ヲ細分シ
テ之ヲ絶對的ニ割取スルカ如キハ到底實行スヘ
カラサル所ナルヲ以テ清國領土ノ保全ハ名儀上

ニ於テ行ハル、コトアラント虽モ講和談判ノ結果
トミテ巨額ノ賠償ヲ要求シ其ノ一時ニ并濟シ能ハ
ケルマ、佛國ノ提議ニ係ル北京大沽間ノ要地ヲ占
領スルノ外償金ノ擔保トミテ各國適宜ノ地域ヲ
押收スルニ至ルヘシ、斯クテ多少若クハ廣狹ノ差コ
ソ有ルヘケシ事實上ノ分割ハ免カルヘキニアラサレ
也殊ニ英ハ長江ニ獨ハ山東ニ各々既ニ遠大ノ野
心ヲ抱ケル者ナリ、今一面清國領土ノ保全ヲ唱ヘ他
方ニ於テ止ムナクハ他國ノ響ニ倣ハント云フ、其ノ
真意知ルヘキノミ

日露兩國モ亦宜ミク此ノ機ニ乘シ何等カノ協約
ヲ締結シ以テ自ラ備フル所アルヘキ也
然シトモ出来ヘクンバ何レノ國ノ疑念若クハ惡感ヲモ
招カサルヲ以テ良策ト為スヲ以テ某論者ノ如ク日
露同盟ヲ公表スルカ如キハ斷シテ不可ナリ、曩昔ビ
スマークハ一方ニ於テ三國同盟ヲ組成シ以テ露國
ニ備フト號シ之ト同時ニ露國ト友誼的中立ノ密
約ヲ結ビタルコトアリ、蓋シ當時露國ノ南下ヲ防
クヨリモ佛國ノ復仇ニ備フルニ一層急ナリシカ故
ナリ、今ヤ我國ハ英獨協商ニ加盟シタリト虽モ英

獨ノ為メニ露國ノ滿州經營ヲ沮障シテ毫モ我ニ
利スル所ナクハ是レ所謂人ノ為メニ粟ヲ火中ニ取
ルモノ而已、我國ハ徹頭徹尾領土保全門戶開放ヲ
公言スヘシト虽モ虚名ノ保全ヨリモ寧ロ韓國及福建
ヲ我カ配下ニ置クヲ以テ其終局ノ眼目ト為サ、ルヘ
カラズ、今日、露カ英獨ニ含ム所アルコソ幸ナシ、更ニ
日露密約ヲ締結シ先ツ兩國宜シク親善ナルヘキ理
由ヲ示シ平和ヲ永遠ニ維持スヘキコトヲ約シ此ノ目
的ヲ遂行センカ為メニ滿韓及福建ノ事ヲ内定スル
コト、為サバ一方ニ於テハ日露開端ノ患ヲ絶テ他

方ニ於テハ清國分割ノ變ニ備フルノ利アルヘシ其ノ約
案ニ就テモ亦卑見ナキニアラス

第百一十五號

百一十五號

○露西亞の性質 近著のウレミヤの記事に、日
本の事を大層譽めて書てある先使の通信と、大な
違ひだ西洋人の凡て氣が變り易いが露西亞などハ
殊に其様と見える露西亞へ旅行して非常に厚かさ
れた人と認めホロ、に取扱はれた人であるが何
も駐露公使の時々の報告毎に露國政府の御機嫌
がガラリと違ふのだ想だ

獨ノ為メニ露國ノ滿州經營ヲ沮障シテ毫モ我ニ
利スル所ナクハ是レ所謂人ノ為メニ粟ヲ火中ニ取
領土保全門戶開放ヲ
ヨリモ寧ロ韓國及福建
ハ局ノ眼目ト為サレハ
リス今日露カ英獨
會ム所アルコソ幸ナシ更ニ
日露密約ヲ締結シ先ツ兩國宜ミク親善ナルヘキ理
由ヲ示シ平和ヲ永遠ニ維持スヘキコトヲ約シ此ノ目
標ニ遵行セテ亦東洋ノ才滿韓及福建ノ事ヲ内定スル
ホト并ニ為分數國各應テ委ニ自前露國務々忠ニ統其ク餘

伊藤博文

